

特定非営利活動法人
気象キャスターネットワーク

活動報告書

2016年



2017年 2月 18日

学校出前授業

気象や環境、防災などに関する様々なテーマの出前授業を全国各地の小学校、中学校、幼稚園などで実施しています。ワークショップや天気の実験、クイズなどを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。

2016年は、企業様、団体様のご協力をいただきながら、小学校、中学校、幼稚園で一年間に合わせて135回の出前授業を行いました。

活動名	2016年実施数	実施地域
地球温暖化防止コミュニケーターによる 小学校環境出前授業 (環境省 委託)	82回 (2016年度100回)	全国各地
「なるほど！お天気実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう～」 (ダイキン工業株式会社 協賛)	20回 (2016年度20回)	東京・神奈川・大阪
防災出前授業「空の教室」 (河川整備基金 助成事業)	18回 (2016年度20回)	全国各地
台東区学びののキャンパスプランニング (台東区 委託)	8回 (2016年度7回)	東京台東区
「日産わくわくエコスクール」 (日産自動車株式会社協働)	5回 (2016年度4回)	東京・神奈川
自主事業による出前授業(減災プロジェクト)	2回 (2016年度3回)	茨城・兵庫
合計	135回 (2016年度154回)	

地球温暖化防止コミュニケーターによる 親子向けイベントと学校環境出前授業

気候変動に関する政府間パネル「IPCC」の内容を一般の国民に伝えていく「地球温暖化防止コミュニケーター事業」。2013年度から始まった事業も全国各地に広がりつつあります。その中で気象キャスターネットワークでは気象の専門性を活かしながら、多くの気象キャスター・気象予報士が地球温暖化防止コミュニケーターとして活動をしています。



2016年度は親子向けイベントを東京・札幌・福岡・大阪・名古屋の5か所で開催しました。それぞれの地域で活躍している気象キャスター・気象予報士が集結し、イベントを盛り上げ、各会場ともにたくさんの親子で賑わいました。



イベントではお菓子をを使って両音を鳴らす実験やクイズなどを交えながら地球温暖化の仕組みや身近な影響などを親子で楽しく学びました。また、みんなでクールチョイスクイズでは、子ども達だけではなく大人も参加して二酸化炭素を出さない賢い選択について学び、これから自分が取り組むことを書いて地球のボードに貼り付けエコな取り組みで地球がいっぱいになりました。



また、9月からは環境出前授業がスタートしました。北海道や関東、東海、関西、広島、沖縄など全国各地の小学校で実施、各地の気象キャスター・気象予報士が講師として、地球温暖化の最新情報を子ども達に教えています。授業の特徴の一つは、ワークショップ「生活ボックスでみんなの生活を振り返ってみよう」。サイコロ状の箱に描かれた私達の生活の色々な場面イラストを見て、どんなところに、ど

の時間帯にエネルギーを使っているかを考えるワークショップです。イラストには「テレビを見る」「お風呂に入る」「給食を食べる」など、子ども達に馴染みの深い、様々な生活のイラストが描かれています。普段の生活の中でも多くのエネルギーが使われていること、意外なところでエネルギーが使われていることを子ども達は学んでいました。



地球温暖化問題は待たなしの先送りできない問題です。気象キャスターネットワークでは今後も、地球温暖化防止コミュニケーターとして、そして地球温暖化をはじめとした環境問題のメッセンジャーとして、様々な知識普及活動を行っていききたいと思います。



「なるほど！お天気・環境実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう！～」
(ダイキン工業株式会社 協賛)

「なるほど！お天気・環境実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう！～」(ダイキン工業株式会社協賛)は、2011年度から始まり今年度で6年目になります。毎年20校の小学校で授業を実施してきました。

フロンは、エアコンなどに使用され、とても便利な物質ですが、外にもれてしまうと地球温暖化に大きく影響をしてしまいます。フロンの回収促進などの対策は地球温暖化防止の最重要課題の一つですが、一般にはあまり知られていません。子ども達に正確な情報を知ってもらうとともに、家族ぐるみの行動に発展することで、家庭でのフロンの適切な管理、回収の促進につながることを目的です。



1時限目は、雲が発生し雨が降るまでの水循環のしくみ、水資源の大切さなど、実験を交えながらお話します。

2時限目は、エアコンのしくみや、地球温暖化などフロンの環境問題を学びます。学校のエアコンの室外機を観察して、フロンの使用量を調べ、温暖化への影響(二酸化炭素換算量)を計算したり、エアコン

を解体してフロンが空気を暖めたり冷やしたりするしくみを学んだりします。

子ども達が地球の環境を守る大切さを感じ、また理科に興味を持ってもらえるとうれしいです。授業をきっかけに将来、気象や環境、または省エネ技術を研究する科学者が誕生すれば、この上ない喜びです。



防災出前授業「空の教室」
(河川基金 助成事業)

防災に関する出前授業「空の教室～空のメッセージをきいて、自然災害から身を守ろう～」(公益財団法人河川財団 河川基金 助成)を、2016年度は全国20校の小学校で実施しました。



1時限目は「天気と災害」についてで、この雲があるときはどんな現象が起こるのかな、大雨が降ったらどんな場所が危ないのかな、竜巻がきたらどこに避難すればいいのかな、など生徒の皆さんにも質問をして、一緒に考えて授業に参加してもらっています。竜巻を作る実験も、みんなに体験してもらいます。

2時限目は「防災ワークショップ」の時間です。数人の班ごとに家族になってもらい「自分の家はどんな危険があるのかな?」「どこに避難すればよいのかな?」など話し合ってもらいました。

11月には、栃木県教育委員会「ふれあ

い学習研修会」で出前授業を実施し、多くの教育関係者に見ていただきました。

この授業を通じて、天気や災害、地域の防災などについて少しでも関心を持ち、自分の身を守れるようにしていきたいですね。



台東区学びのキャンパスプランニング

台東区教育委員会が主催する「台東区学びのキャンパスプランニング」を通じて、台東区内の幼稚園、小学校、中学校で、気象・環境・防災教育を実施しました。



幼稚園では、地震や津波の防災を、防災キャラクター「サイぼうくん」と一緒にクイズや体操、歌を交えながら遊んで学べる教室を行いました。また熱中症と紫外線をテーマに、紙芝居を活用した教室を実施しました。

小学校では「大雨が降ったらどんな所が危ないのか」「警報や注意報、台風情報について」など、より具体的、実践的に学べる授業を実施しました。またキャリア教育の一環として、気象予報士の仕事について実際の気象業務に従事する講師が仕事の舞台裏や、気象予報士を目指したきっかけなどを話し、生徒の皆さんの将来の進路に役立ててもらった授業を行いました。気象キャスター、気象予報士が集まる会場だからこそできる様々な授業を実施し、事務局所在地である台東区の地元で根差した活動として今後も広がっていきます。

イベントの開催

2016年も全国各地で子ども向けの天気や環境、防災に関するイベントを実施しました。

イベントでは、テレビやラジオの気象キャスターが実験やゲーム、クイズを取り入れながら、ステージを盛り上げます。雲や雨、竜巻など天気の実験のほか、気象キャスター体験など、子ども達が実際に体験して楽しめるしかけもたくさんあります。

2016年は仙台市で被災地支援のイベントを実施しました。気象キャスターネットワークでは、今後も東日本大震災などの被災地でのボランティア活動を続けていきたいと思っています。

2016年 イベント 実施例

地球温暖化防止コミュニケーターによる親子向けイベント（東京、札幌、福岡、大阪）

被災地支援イベント「お天気防災教室～自然災害から身を守るには？～」(仙台)

ダイキンショールーム フーハ東京・フーハ大阪 「お天気・環境実験教室」

国土交通省 「お天気キャスターと楽しく学ぼう！わくわくお天気教室」
(青森県弘前市、秋田県横手市、新潟県長岡市、宮城県大崎市)

気象キャスター大集合！お天気スペシャルトークショー（広島）

なごや環境大学 「お天気キャスターと学ぼう！『未来の地球を守るのはキミだ！』」

「親子で学ぶお天気防災教室」（子どもゆめ基金助成事業）

品川区環境情報活動センター 子ども環境学習講座

大阪グランフロント「親子で学ぶ防災教室 自然災害から身を守ろう！」

■2016年イベント実施実績 48回

7月28日 秋田県横手市 国土交通省「お天気キャスターと楽しく学ぼう！わくわくお天気教室」

7月28日に秋田県横手市で国土交通省主催の「わくわくお天気教室」を行いました。



横手市を流れる成瀬川の上流では成瀬ダムの建設が進められています。お天気教室はダム上下流の地域間交流の一環として企画され、今回で2回目の開催と

なります。上流からは東成瀬村、下流からは横手市、湯沢市の子ども達が参加しました。

講師は、菊池真以キャスターと鈴木智恵キャスター。雨や雲のしくみ、大雨の怖さ、ダムの役割を実験や工作を交えて楽しく学びました。



お天気教室の後、成瀬ダムの工事現場を見学しました。普段はめったに見ることができない仮排水トンネルの中を懐中電灯で足元を照らしながら歩きました。



ダムが完成するのはまだ数年後。完成したダムを見た時に、お天気教室のことを思い出してくれるとうれしく思います。

8月18日 丸の内キッズジャンボリー 「空の教室 ～雨と雲の不思議～」

丸の内キッズジャンボリーイベント初日、子ども達の好奇心のツバサを広げようと、東京国際フォーラムで開かれているイベントです。



この日、気象キャスターネットワークでは、空の教室と題して、雨と雲についてのイベントを開催してきました。

幼稚園児から小学6年生まで大勢の子ども達が参加してくれて、子ども達の笑顔

でいっぱいでした！

会場は満席。子ども達のキラキラの瞳に、うっとりしながら、こちらもたっぴり楽しませていただきました。

講師は藤森涼子代表。気象予報士のお仕事について紹介をすると、子ども達は興味津々でお話に参加していました。



中には、気象予報士になりたい！という女の子も。将来がとっても楽しみです。気

象仲間がたくさん増えるとうれしいです。

イベントでは、雲のクイズをしたり、ペットボトルで雲をつくったり、雨粒の形をお絵かきしたり…

イベントを通して、水の大切さをしっかり学んでくれました！夏休みの楽しい思い出のひとつになったかな。

子ども達の笑顔に囲まれて、とっても素敵な夏休みの思い出をいただきました。

(関東地区・田辺希さん)



11月7日 仙台市
「空の教室 ～自然災害から身を守ろう～」

東日本大震災以降、毎年実施している気象キャスターネットワーク被災地支援イベント、こしは仙台市若林区の七郷小学校で行いました。学区の一部が津波で浸水するなど甚大な被害を受け、「ともに立ちあがろう！七郷」をスローガンに復興学習に取り組み、授業の中に「防災安全科」を設けるなど、積極的に防災学習を行っている小学校です。



下は保育園から上は6年生までの児童達や、保護者の方々など約65名が参加。雪の専門家のお話、竜巻や台風の話、そして世界一受けたい授業にも出演された空の探検家・武田康男先生の雲の映像には、「うーおー」と歓声があがるなど児童だけでなく親御さんや先生方もクギづけ！みんなワクワクしながら、楽しく学ぶ教室でした。

イベントの後、津波被害の大きかった荒浜小学校を視察。震災遺構になることが決まり、保存のための工事が行われている校舎を眺めながら、おふたりの先生方から当時のお話をお聞きました。

震災から5年7か月。この荒浜を一緒に歩き、見聞きしながら感じた、生きた言葉をしっかりと受けとめてこれからもしっかりと伝えていきたいと、あらためて感じた一日でした。（鈴木智恵さん・東北地区）



11月13日 広島市
「気象キャスター大集合！お天気スペシャルトークショー」

11月13日（日）、広島市中区の江波山気象館で「気象キャスター大集合！お天気スペシャルトークショー」が開催されました。これは、江波山気象館と気象キャスターネットワークの主催で行っているイベントで、今年で3回目になります。今年、大阪から読売テレビの蓬莱大介さん、東京から日本テレビの藤森涼子さん、広島からはRCCの岩永哲さん、岸真弓さん、NHK広島の勝丸恭子さん、ホームテレビの横田真理子さん、TSSの中谷雪乃さん、広島テレビの大隅智子さんが出演しました。



トークショーの特徴はなんといっても「天気の話がないこと」(笑)。気象キャスターになるまでの道のり、キャスターの1日、キャスター以外の仕事、取材のこぼれ話などをまず広島のキャスターが中心となって話しました。そして後半は、蓬莱さんの「笑いが絶えないトークショー」が繰り

上げられました。普段テレビでは見られない蓬莱さんの素顔も見られ、爆笑トークでした。最後は、蓬莱さんが作詞作曲した曲を会場のみんで歌いました。

広島市の江波山気象館は全国でも珍しい天気の博物館です。みなさんもぜひお越しください。（大隅智子さん・中国地区）



10月15日、11月26日 なごや環境大学親子講座
お天気キャスターと学ぼう！～未来の地球を守るのはキミだ！～

なごや環境大学は、市民・NPO・企業などが協働で作る環境学習の場で、気象キャスターネットワークは2006年から毎年、様々なテーマで親子向けの講座を開催しています。



今年度は「お天気キャスターと学ぼう！～未来の地球を守るのはキミだ！～」をテーマに3回の連続講座を企画しました。

10月15日の第1回「未来の気象予報士はキミだ！」では、子ども達がお天気キャスターになって「未来の天気予報」を伝えました。「アイスの美味しい気温です」「学校のプールはありそうです」「猛烈な台風が近付いています。海外へ逃げましょう」「地下シェルターに待避して」など、子ども達の自由な発想による個性的な表現に感心しきり。笑いも絶えませんでした。



11月26日の第2回「植物の役割とは？」は、名古屋市東山植物園で実施。フィールドワークで園内の紅葉を観察し、松ぼっくりやドングリ、ユーカリの実などを使ってクリスマスリースを作りました。

第3回「災害から命を守る術とは？」は2017年2月11日に開催予定です。東海地区メンバー、力を合わせて頑張りましょう！

講演・企業研修会

官公庁や自治体、企業、団体からの依頼をいただき、一般市民や企業社員向けなどの講演や研修会を全国各地で実施しました。気象キャスターや気象予報士が、気象災害から身を守るための様々な気象情報の活用方法や、天気予報の見方など最新の映像や事例を交え、わかりやすくお話しています。



気象健康セミナー(大塚製薬株式会社協賛)

2016年 講演・企業研修会 実施例

気象健康セミナー (大塚製薬株式会社協賛、2016年33回実施)

地域ぼうさいカフェ ～地域の魅力と防災について皆で考えてみる～

暮らしに役立つ天気予報 ～自然災害から身を守るには～

知って とくダネ!“あまたつ”のお天気でクールチョイス!!

天気予報の見方と気象災害への備え

知って役立つ天気予報～健康とビジネスのために～

「気候変動と気象災害」～COP21パリ協定を受けて私たちがすべきことは～

気候変動で多発する気象災害～地域防災を考える～

2050年、富山市の天気予報

埼玉の暮らしと天気

変わる気候と帯広の天気

■2016年講演実施実績 130回

2月25日、7月18日 角栄ガス ワークショップ 「地域ぼうさいカフェ ～地域の魅力と防災について皆で考えてみる～」

地域の魅力と防災についてワークショップで考える「地域防災カフェ」(角栄ガス株式会社共催)を2月25日佐倉市、7月18日川越市で実施しました。講演で近年の気象災害とそれに対する防災について学んだ後、町の防災について話し合うワークショップを行いました。

ワークショップでは、お住まいの地域の防災における問題点を話し合っって課題を共有し、防災力アップのために今できるこ



とは何かを考えました。
地域の防災を考えるワークショップが、

地域コミュニティの強化など魅力的な町づくりまで発展することが目的です。



6月25日 「防災シンポジウム in 松伏」

6月25日、埼玉県松伏町で「防災シンポジウムin松伏」(防災シンポジウム実行委員会、一般財団法人自治総合センター主催)が行われました。

気象キャスターの井田寛子さん、伊藤みゆきさん、池田未来さん、そして弊会事務局長の岩谷忠幸が、パネルディスカッ

ションなどに参加しました。

行政(町、県、国)、報道、学識経験者、NPOなど情報の発信主体が一堂に会し、いかにして情報を伝えるべきか。災害に強いまちづくりやひとづくりについて、活発な議論が行われました。



11月19日 富山シンポジウム 「地球温暖化でどうなる? 富山の冬」

富山県は、自然の豊かな県として知られ、立山黒部アルペンルートや雪の大谷、黒部ダムは全国的に知名度が高く、海外からも多くの観光客が訪れています。雪の大谷は巨大な雪の壁として有名ですが、近年は富山の雪が減ってきているといわれています。2015年は、平野部だけではなく、標高の高い立山室堂平でも、ここ20年で最も雪の少ない年となったそうです。



このまま地球温暖化が進むと、富山県の冬はどうなってしまうのか? NHK富山の木地智美キャスター、富山県立カルデラ砂防博物館の飯田肇学芸課長、気象

研究所の川瀬宏明研究官が、富山県の過去と現在の気候、そして将来の起こりうる変化についてお話しいただきました。



講座・研修会・見学会

気象キャスターネットワークでは、会員の方が気象・防災・環境に関する最新の情報・知識を学ぶことができる講座・研修会・見学会を実施しています。気象講座の様子は、全国の会員の方にご覧いただけるように、ユーストリームを使ってライブ配信を行っています。また、今年度は広島土砂災害、関東・東北豪雨の被災地の現地視察も実施しました。

2016年実施 講座・研修会・見学会

5月 7日	気象キャスター座談会 今村涼子さん、奈良岡希実子さん、向笠康二郎さん
5月14日	国土交通省中部地方整備局 見学会 (名古屋市)
6月11日	東京ガス主催 エコ・クッキング インストラクター養成講座
6月18日	矢木沢ダム 現場視察 (群馬県みなかみ町)
7月16日	岐阜地方気象台 勉強会
11月 5日	顕著気象をもたらす雲の科学 雲研究者・気象庁気象研究所 研究官 荒木健太郎氏
12月 4日	気象キャスター座談会 天達武史さん、寺川奈津美さん、くぼてんきさん
12月 4日	中国地方整備局 勉強会 (除雪基地や除雪車両の見学会)

5月14日

国土交通省中部地方整備局 見学会

5月14日、国土交通省中部地方整備局のみなさんと意見交換会そして見学会が行われました。



はじめに案内されたのが多数の川の様子が見える大型モニターが配置された災害対策室。緊張感がただよぶ部屋。実際、大雨時は各担当者がこの部屋に集結。出水を防ぐためのアクションがここで展開されるということです。

その後、向かったのは16年前の東海豪雨で被害があった地域。川の堤防が決壊した現場、そのほか公園を利用した遊水地などを視察しました。今では新たに堤防を築き、川底を掘削するなどして過去の災害を教訓とした様々な取り組みが行われることを知りました。

しかしそれとともに東海豪雨後に引っ越してきたのか？新築と見られる家々も点在。この人達は東海豪雨を知っているのか？そんなことが頭によぎり、伝えていくことの大切さも考えさせられました。

(寺尾直樹さん・東海地区)



6月18日

矢木沢ダム 現場視察

6月18日、水資源機構のご協力で、渇水の矢木沢ダムの現場視察を行うことができました。栃木県で気象キャスターをしている私にとって、関東のダムの渇水は大変気になる話題でした。



今回、矢木沢ダムを直接見て、衝撃を受けました。ダム湖を船で特別にご案内いただきましたが、湖というより砂漠？と思うような光景が広がっていました。

水は自然の恵みで限りあるものだとことを強く感じました。

水の大切さをきちんと伝え、自分自身も大切に使うと改めて思う機会となりました。

(池田未来さん・関東地区)



5月7日、12月4日

気象キャスター座談会

5月7日と12月4日に「気象キャスター座談会」を開催しました。気象キャスターの仕事について、現役キャスターを迎えてお話頂く毎年恒例の講座です。

5月7日はテレビ朝日の今村涼子キャスター、テレビ東京の奈良岡希実子キャスターに、12月4日はフジテレビの天達武史キャスター、寺川奈津美キャスターをお招きして、各局の様子をはじめ、気象キャ

スターを目指したきっかけや仕事で大変なことや嬉しかったこと、失敗談などをざっくばらんに話して頂きました。また、NHK水戸の向笠康二郎キャスター、テレビ神奈川のくぼてんきキャスターには、キャスターになるまでの経験談を話してもらいました。

参加者の中から将来の気象キャスターが誕生することを期待したいですね。



気象・生活情報の提供

熱中症情報や乾燥情報など生活に役立つ情報を発信しています。

熱中症予防情報(大塚製薬株式会社協働)では、暑さ指数(WBGT)を使い、気温だけでなく湿度などを加味した熱中症の危険度を予測しています。スマートフォン向けページではGPS機能で現在地の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。

生活乾燥情報(大塚製薬株式会社協働)では、暖房した室内の乾燥度合が分かる室内乾燥指数(IDI)を予測しています。

春には独自の「さくら開花予想」を発表しています。また会員の皆様にお役立ていただける気象情報閲覧ページも開設しています。

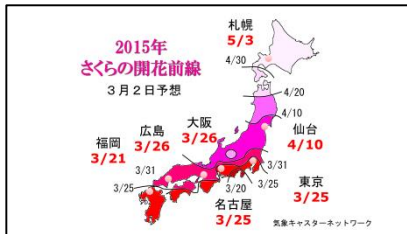
2016年は、子どもゆめ基金助成事業としてタブレットを使った子ども向け防災教材「サイぼうくんのお天気ぼうさい探検隊」を開発しました。タブレット端末の地図機能を使って防災マップを作ることができるWeb教材です。



熱中症予防情報(大塚製薬株式会社協働)



生活乾燥情報(大塚製薬株式会社協働)



さくら開花予想

アメダスランキング・全国(2015年2月13日)
 データ期間:2015/02/13(00:00)~2015/02/13(18:10)
 観測: 最高気温(高)、最低気温(低)、最高気温(低)、最高気温(高)、最高気温(高)、最高気温(高)
 観測: 1時間降水量、3時間降水量、12時間降水量、24時間降水量
 観測: 最大風速、最大瞬間風速、最小風速
 観測: 観測点

凡例 D: 準正常値 D: 資料不足値

順位	観測点名	気温	データ	観測
1位	高尾山	23.0℃	2015/02/13(12:10)	
2位	伊豆山	21.5℃	2015/02/13(12:20)	
3位	赤松山	20.9℃	2015/02/13(14:20)	
4位	山形	20.8℃	2015/02/13(15:25)	
5位	山形	20.8℃	2015/02/13(15:57)	
6位	山形	20.8℃	2015/02/13(16:28)	
7位	山形	20.5℃	2015/02/13(14:20)	

会員専用ページ アメダスランキング



タブレット端末を使った子ども向け防災教材

会員数

この1年の間にも多くの方に新規に会員になっていただき、2016年12月末で会員数は計283人となりました。全国の多くの会員の皆様にご参加いただいているパワーとネットワークを生かせるように、2017年も一層活動の幅を広げていきたいと考えております。

正会員	133名
一般会員	134名
賛助会員	3社
学生会員	13名
計	283名

2016年12月末現在

「Twitter」「Facebook」のご案内

ソーシャルメディア公式アカウントを作成し、随時当会の活動紹介や、出前授業・イベント募集などをご案内しています。
 ぜひ、Facebookの「いいね！」ボタンを押して、Twitterのフォローをして頂き、当会からのご案内をご利用下さい。

「いいね！」してね☆

NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002
 東京都台東区上野桜木1-14-21
 高遠レジデンス上野桜木202号
 TEL 03-5832-9401
 FAX 03-5832-9402
 MAIL info@weathercaster.jp

ホームページもご覧ください

<http://www.weathercaster.jp/>

気象キャスター

検索

